

平成26年12月14日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
— 第3区 —

選挙公報

投票日 12月14日 日

愛媛県選挙管理委員会

暴走政治ストップ

安倍政権の経済失政による「不況」で、くらしはますます深刻です。暴走政治ストップ—もっとも確かな力は、日本共産党と私、一色一正への一票です。力をあわせ、国民の声で動く新しい政治をつくりましょう。

国民の声で動く新しい政治を



消費税増税10%キツパリ中止

財源

- 富裕層と大企業に応分の負担を求める
- 大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収をふやす

伊方原発再稼働やめ、ゼロへ

「戦争する国」づくり許さない

日本を「殺し、殺される国」につくりかえる憲法違反の集団的自衛権行使の「閣議決定」を撤回させます。憲法9条の精神に立った平和の外交戦略で、北東アジアの平和と安定を築きます。

政治腐敗の根源をただす— 企業・団体献金禁止、政党助成金廃止を

「共産党以外に野党として胸をはって堂々とたたかっていく姿はまったくくない」
(野中広務元自民党幹事長・11月16日TBS系テレビ)

「格差拡大」のアベノミクスからくらし最優先で経済たてなおす

- TPP交渉から撤退、農林水産業、中小企業と地域経済の振興
- 不安定雇用から安定した雇用の拡大へ
- 中小企業支援と一体に最低賃金引き上げ、ブラック企業なくす
- 年金削減ストップ、低すぎる年金の底上げ
- 医療費の窓口負担、国保料軽減など社会保障の拡充

アベノミクスの実際

安倍首相は名目賃金だけ見て「賃金2%増」と言いますが、実質賃金は15カ月連続マイナス。給与総額は内閣発足前年比8900円減です。

安倍首相は「雇用100万人増」と主張。でも増えたのは非正規雇用です。
・非正規…約123万人増 ・正規…約22万人減

アベノミクスと消費税増税によって、景況、売上高指数とも4月以降下落。円安倒産は前年比2.8倍にもなりました。

【プロフィール】1950年生まれ。神戸家庭裁判所事務官、ダイハツ工業、周桑民主商工会勤務などを経て、西条市議4期。現在、党東予地区委員長。

い
つ
し
き

か
ず
ま
さ

日本共産党

民主党公認
白石よういち
51歳



地域の発展のため「ひたすら一生懸命」

現職の3年間で実現できた政策

医師不足に対し、関東圏に勤務するお医者さんを3市の病院へお招きする活動

関東圏に勤務する愛媛県出身者や愛媛にゆかりのある医師を、3市の病院にお招きするための橋渡しを県と連携して実施。2010年に「ふるさと応援・医療再生フォーラム」を通じて関東の勤務医と3市の病院とのマッチングの場を設定

西条市中心市街地活性化事業の推進

国土交通省の交付金に加え、経済産業省の交付金事業に2012年7月に採択され、総額約37億円の商店街活性化事業が加速

総合特区の全国第一弾に「西条農業革新都市」が選ばれる

住友化学やJ.A.などの連携によるサンライズファーム西条が発足、西条の水を利用し6次産業化で国際競争に勝てる農業が西条からスタート。私は、総合特区規制改革小委員会主査(2009年)として総合特区制度創設をリード

東予港を「重点港湾」に指定し、防波堤事業開始、予算を確保

全国に103港あった重要港湾を43の「重点港湾」に絞り込む際、東予港も指定に入れ(2010年)、地元20年来的悲願であった今治造船西条工場沖の「西条防波堤」事業開始(2011年)、予算を確保

11号バイパスをつないでいく

2012年に新居浜バイパス本郷・萩生間開通。県立新居浜病院前の渋滞を緩和

しまなみ海道自転車通行無料化要請活動。

JRの経営安定化

2012年には「ゴールデンウィーク」の期間無料化を実現。(その後全面無料化)

JR四国の経営安定と設備投資のため、1800億円の支援を実現

新居浜市への、青函連絡船羊蹄丸の解体事業の誘致により新居浜高専によるプロジェクト実現

新居浜高専と地元企業による大型船解体技術の習得、育成につなげた

新居浜の化学工場の立地環境と雇用確保

経済産業委員会委員として、「化学産業の未来を考える会」を立ち上げ、2012年度税制改正で、ナフサ税免除の実質恒久化を勝ちとり、新居浜ははじめ日本立地の化学工場の将来と雇用を確保

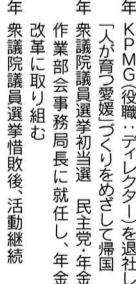
この2年間の浪人時、歩いて地域の実情を知り…



民主党

プロフィール

- 一九六三年 昭和38年 自営業(自動車整備)の男3人兄弟の長男として育つ
- 一九八七年 東京大学法学部卒業。日本長期信用銀行入行
- 一九九三年 一九九三年カリフォルニア大学バークレー校経営学大学院(MBA)卒業
- 二〇〇〇年 米大手監査法人KPMG(ニューヨーク事務所)に入社
- 二〇〇〇年 9月11日、アメリカ同時多発テロ事件に遭遇
- 二〇〇四年 稲盛財団「イナモトフェロー」に入塾
- 二〇〇六年 KPMG(後職「インテクト」を退社し、「人が育つ環境づくり」を掲げて帰国)
- 二〇〇九年 衆議院議員選挙初当選。民主党、年金作業部会事務局長に就任し、年金改革に取り組み
- 二〇一二年 衆議院議員選挙惜敗後、活動継続



「年金がんばる洋一」

平成26年12月14日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
— 第3区 —

選挙公報

投票日 **12月14日** 日

愛媛県選挙管理委員会



日本を守る、責任力!! 地域の誇りをかけて!!

「国のしくみ」を変えていきます。



自由民主党公認
しら いし
白石とおる



地域経済から 日本再生

- 徹底した地域利益誘導型。政治が生む活力ある日本を目指します。
- 地域のかげがいのない資源、すばらしい技術、物産を世界へ売り込みます。



誇りと信頼ある 安定した国家づくり

- 自立した日本・統合的安全保障を確立。
- わが国の主権と領土を守る法・組織・機関の整備。
- 進化させた成長戦略を確実に実行し、経済成長に向けた環境整備を進め、日本経済を成長軌道へ乗せます。



社会を支える 仕組みづくり

- コミュニティの再生をはかり地域社会をささえる新たなセクターとして育つ環境づくり。
- 未修学児やその両親の集う子育て広場を拡充します。

徹底した現場主義が可能にする地方創生のさきがけ



生活を支える 仕組みづくり

- 持続可能な年金制度、国民皆保険の堅持。
- 国民生活、社会活動の基盤となる安定かつ低コストエネルギーの需給構造を確立します。
- 一生涯現役社会を目指します。



日本の強みづくり

- 障がい者も高齢者もだれもが安全に安心して旅行ができるバリアフリー観光を推進します。
- 国際競争力強化のため知財の保護と輸出環境整備。
- 強い農業と農業文化を確立します。



地方創生を 実現します

- 地域貢献型企業・地域還元型企業を連携させ強化します。
- 四国中央、新居浜、西条が機能的に連携できるような交通インフラ、情報インフラの整備を行います。

昭和31年 新居浜市生まれ
愛媛県立新居浜西高等学校 卒業
早稲田大学理工学部 卒業
(社)日本青年会議所 '96年 副会頭
(社)常盤製干家業文会 新居浜支部 副支部長
衆議院議員 当選3回
衆議院議員 当選1回
自由民主党 愛媛県第三選挙区支部 支部長
(身長)182cm

愛・夢・感動の郷土づくり

衆議院小選挙区選出議員選挙
衆議院比例代表選出議員選挙
最高裁判所裁判官国民審査



投票日 12月14日(日)

投票時間は **午前7時から午後8時まで** (一部地域を除く。)



◎投票用紙は、次のとおりです。

- 小選挙区 **薄い桃色の用紙に黒色のインクで印刷したもの**
- 比例代表 **あさぎ色(薄い水色)の用紙に赤のインクで印刷したもの**
- 国民審査 **白色の用紙に黒色のインクで印刷したもの**

- この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で縮小し印刷したものです。
- 選挙公報の掲載順序は、くじで定めたものであり、立候補の届出順ではありません。

愛媛県選挙管理委員会